

地盤調査特記事項

(千早図書館改築に伴う基本・実施・解体設計業務請負)

調査箇所

東京都 豊島区 千早二丁目 44 番 2 号

1 業務内容

計画建築物の基礎構造設計に必要な地盤情報を得るため、ボーリング調査、原位置試験及び室内土質試験を行うものである。

(1) ボーリング調査

ア ボーリング深度及び本数予定深度：20m 1 本

イ 工法、機械の種類

標準貫入試験及び資料採取を行う。

ボーリングの孔径は 116mm とし、孔壁が崩壊する恐れのある場合はベントナイト安定液等により適切な保護養生をする。ただし、孔内に地下水が認められるまでは、原則として、水、ベントナイト安定液等を使用してはならない。

掘削中孔内に地下水が認められたときは、その深さを記録する。

ウ 検尺

ボーリング完了後は、監督員の立会いのもと検尺を行うこと。

予定深度以前に支持層を確認できた場合、予定深度の掘進を完了する以前に支持層を確認できない場合、または予定深度の掘進を完了しても支持層を確認できない場合は、監督員と協議するものとする。

(2) 標準貫入試験

ア 試験方法

JIS A 1219 によるものとする。

イ 回数

1 m 毎

(3) 孔内水平載荷試験

ア 試験方法

孔内水平載荷試験方法 JGS 1421 による。

イ 載荷試験

試験目的、対象地盤に合致する機器を使用する。

ウ 試験箇所

監督員との協議による（1か所）。

(4)室内土質試験

乱さない試料の採取は、ロータリー式二重管(デニソン)サンプラーによる土料の採取方法(JGS 1221)に基づき実施する。

また、各試験方法は以下による。

ア	土粒子の密度試験	JGS-0111	JIS-A-1202
イ	土の含水比試験	JGS-0121	JIS-A-1203
ウ	土の粒度試験	JGS-0131	JIS-A-1204
エ	土の液性限界試験	JGS-0141	JIS-A-1205
オ	土の塑性限界試験	JGS-0141	JIS-A-1205
カ	土の細粒分含有率試験	JGS-0135	JIS-A-1223
キ	土の湿潤密度試験	JGS-0191	JIS-A-1225
ク	土の一軸圧縮試験	JGS-0511	JIS-A-1216
ケ	土の三軸圧縮試験	JGS-0511	JIS-A-1216
コ	土の圧密試験	JGS-0411	JIS-A-1217

(5)後片付け

作業が終了した後、調査孔を埋め戻し、残材、廃棄物、泥水を撤去すること。

(6)担当技術者

担当技術者は、次による資格を持つ者、またそれと同等の地盤調査に係る十分な能力を有する者で区が認めた者とする。

ア 技術士(建設部門)

イ (一社)全国地質調査業協会連合会認定「地質調査技士」

(7)その他

ア 調査業務中に調査内容の変更が必要と判断された場合は、監督員と協議すること。また、監督員の指示に従い、調査業務を進めるものとする。

イ ボーリングは、その箇所での所要の深さについてはその都度監督員の指示により決定する(ボーリング調査のための仕上げの仮撤去・復旧も本業務に含むものとする)。

ウ 日々の状況、地層の変化(岩盤、転石、崩壊)については、その都度監督員に報告する。

エ ベンチマーク調査位置は、監督員立会いのうえで決定する。

オ 本仕様書に特記がない事項は、豊島区施設整備課「地盤調査委託仕様書(最新版)」によるものとする。

2 成果品

調査業務が完了したときには、次により成果品を提出すること。

(1) 調査報告書 黒表紙金文字入り製本A4版 2部

<報告書内容> ※一例を示す。

ア 業務概要

イ 調査の方法と解説

ウ 調査結果

(ア) 調査地付近の地形・地質概要

(イ) ボーリング調査

(ウ) 孔内水平載荷試験

(エ) 室内土質試験

エ 考察

(ア) 設計用地盤定数の提案

(イ) 基礎工に対する留意点

(ウ) 地盤の液状化の検討

オ 添付資料

調査位置図（基準点、調査地点の高さ等）、ボーリング柱状図、推定断面図、孔内水平載荷試験結果、室内土質試験結果、現場記録写真、警備日誌、等

(2) 電子データ CD-RまたはDVD-Rによる(上記(1)の内容のPDFデータ)

(3) 土質標本一式 ケース入り ((試料はガラス瓶入り(ラベル貼り共))

ラベルには業務委託名、ボーリングナンバー、深度、土質名、N値、採取日、会社名を記載する。